

特集：2007年度日本数学会出版賞受賞者のことば

野崎昭弘氏

受賞者の言葉

2007年度の日本数学会出版賞を頂戴し、大変うれしくまた光栄に思っております。賞状の文章にも感激しましたし、『の話』と『赤いぼうし』に触れていただいたことも、実にうれしいことでした。

私の研究論文は日本数学会の雑誌ではなく、すべて情報処理関係の論文誌に投稿・掲載されたものばかりです。まあテーマは理論的・数学的な方面ですから、コンピュータ関係の方々からは数学者とみなされているかも知れませんが、最近は数学会の研究集会にもすっかりご無沙汰しております。そういうわけで、「私などが頂いていいのだろうか」と、恥ずかしく思うところもあります。

しかし出身は理学部数学科ですから、故郷はやはり数学です。「友達以上、恋人未満」という言葉がありますが、私にとって日本数学会は「恋人以上、憧れの女神様」で、今回の受賞は、憧れの女神様に頭をなでていただいたような気分です。そのため「もっとふさわしい方がおられるだろうに」ということはすっかり忘れて、心底から喜んでおります。誠にありがとうございました。

末筆ながら日本数学会のますますのご発展を、切にお祈り申し上げます。

野崎昭弘